

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業（一般）	都道府県名	青森県	地区名	二本柳
-----	--------------	-------	-----	-----	-----

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,207,000千円	
年 効 用		87,891千円	
廃 用 損 失 額		35,743千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		28年	当該事業の耐用年数
還元率×（１＋建設利息率）		0.0623	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,375,027千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.13	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	21,178	転作作物面積の増加に伴う収益の増加 対象作物：水稻、大豆、小麦、そば、トマト、ばれいしょ、かぼちゃ
営農経費の節減	維持管理費節減効果	962	農業用排水施設の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：排水路
施設更新による従来の農業生産の維持	更新効果	59,574	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路
地域の生活環境の保全・向上	安全性向上効果	3,971	農業用排水施設の改修に伴う転落防止柵の設置による安全性の確保 対象施設：排水路

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
地域の生活環境 の保全・向上	水辺環境整備効果	2 , 2 0 6	環境に配慮した施設の整備による水辺環境の保全 対象施設：排水路
計		8 7 , 8 9 1	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業（一般）	都道府県名	宮城県	地区名	柴鳥
-----	--------------	-------	-----	-----	----

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		4 , 3 6 0 , 2 9 2 千円	
年 効 用		2 8 1 , 2 9 8 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		3 1 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 9 1	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	4 , 7 5 9 , 6 9 5 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 9	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	2 1 , 7 5 0	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	2 0 8 , 3 3 9	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆
	維持管理費節減効果	1 , 2 5 1	排水施設等の改修、用排水路の新設、改良に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用排水路、機場、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	5 2 , 4 6 0	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路、排水機場、道路
計		2 8 1 , 2 9 8	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業（一般）	都道府県名	秋田県	地区名	平鹿平野（一期）
-----	--------------	-------	-----	-----	----------

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		159,149,378千円	
年 効 用		10,549,880千円	
廃 用 損 失 額		268,460千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		43年	当該事業の耐用年数
還元率×（１＋建設利息率）		0.0536	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	196,557,659千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.23	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	1,214,700	用水改良に伴う単収の増加ならびに作物生産が増加する。 対象作物：水稻、えだまめ、すいか、大豆
営農経費の節減	営農経費節減効果	4,074,019	関連ほ場整備事業等による労働の省力化、機械経費の節減
	維持管理費節減効果	1,059,189	用水施設の改修に伴い廃止される揚水機経費等の削減
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	4,065,152	老朽化した施設の更新により従前農業生産が維持される。

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
地域の生活環境 の保全・向上	安 全 性 向 上 効 果	3 2 , 0 7 7	農業用排水施設の改修に伴う転落防止柵の設置による安全性の確保 対象施設：用水路
	公 共 施 設 保 全 効 果	8 5 , 6 0 8	用水路改修により、道路及び橋梁（旧施設）が持つ従来の機能の維持 対象施設：道路、橋梁
	水 辺 環 境 整 備 効 果	1 9 , 1 3 5	魚類等の生息環境に配慮した施設にすることによる水辺環境の保全 対象施設：頭首工（魚道整備）
計		1 0 , 5 4 9 , 8 8 0	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業（一般）	都道府県名	福井県	地区名	西江・中江１期
-----	--------------	-------	-----	-----	---------

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		１６，４９１，０００千円	
年 効 用		９５５，８１１千円	
廃 用 損 失 額		４７２，４６１千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		３７年	当該事業の耐用年数
還元率×（１＋建設利息率）		０．０５３９	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	１７，２６０，５８２千円	
費 用 便 益 比	= ÷	１．０４	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	１，９４９	パイプライン化による水管理合理化 対象作物：水稻
営農経費の節減	営農経費節減効果	１０２，３０８	水管理合理化による労働時間の短縮 対象作物：水稻
	維持管理費節減効果	１５，６３８	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、揚水機場
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	８２５，７５９	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
地域の生活環境 の保全向上	地 籍 確 定 効 果	2 2 0	圃場整備等の実施により、区画 が整形化され、地籍が明確になる効果
	安 全 性 向 上 効 果	9 , 8 9 8	開水路の暗渠化により、事故等 の減少を図り、地域の安全性の 向上を図る効果 対象施設：用水路
	水 辺 環 境 整 備 効 果	3 9	水路の一部にせせらぎ水路を創 設することにより、水辺環境が 創設される効果 対象施設：用水路
計		9 5 5 , 8 1 1	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業（一般）	都道府県名	滋賀県	地区名	草津用水
-----	--------------	-------	-----	-----	------

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2 , 1 8 0 , 0 0 0 千円	
年 効 用		1 3 4 , 7 5 8 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		2 9 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 6 1 2	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 , 2 0 1 , 9 2 8 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 1	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	3 , 4 7 3	用水施設等の改修に伴う施設の 維持管理費の節減 対象施設：揚水機、用水路、分 水工
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更 新 効 果	1 3 1 , 2 8 5	老朽化した施設の更新による従 前の農業生産の維持 対象施設：揚水機、用水路、分 水工
計		1 3 4 , 7 5 8	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業（一般）	都道府県名	沖縄県	地区名	南風原西原
-----	--------------	-------	-----	-----	-------

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2 , 4 0 6 , 4 4 2 千円	
年 効 用		1 3 4 , 1 2 9 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		5 1 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 4 7 2	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 , 8 4 1 , 7 1 6 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 8	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	1 4 0 , 1 1 4	畑地かんがい施設の整備による 作付面積の拡大や単収の増加 対象作物：さとうきび、メロ ン、きく、いんげん、にがうり
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 , 3 7 0	畑地かんがい施設の整備による 労働時間の増 対象作物：さとうきび、メロ ン、きく、いんげん、にがうり
	維持管理費節減効果	4 , 6 1 5	畑地かんがい施設の整備による 維持管理費の増加 対象施設：送水管、畑かん施設 等
計		1 3 4 , 1 2 9	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業（一般）	都道府県名	沖縄県	地区名	幕外
-----	--------------	-------	-----	-----	----

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		14,467,000千円	
年 効 用		789,330千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		47年	当該事業の耐用年数
還元率×（１＋建設利息率）		0.0487	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	16,208,008千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.12	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	137,551	畑地かんがい施設の整備による作付面積の拡大や単収の増加 対象作物：さとうきび、ばれいしょ、パパイヤ
営農経費の節減	営農経費節減効果	615,190	畑地かんがい施設の整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：さとうきび
	維持管理費節減効果	11,267	畑地かんがい施設の整備による維持管理費の増加 対象施設：ファームpond、揚水機場、送水管、畑かん施設等
地域の生活環境の保全・向上	水辺環境整備効果	42,986	降雨等により周辺海域へ流出する土砂を防止することによる水辺環境の保全 対象施設：沈砂池、集水池、浸透池

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
地域の生活環境 の保全・向上	公共施設保全効果	4 , 8 7 0	管路埋設により、道路（旧施設）が持つ従来の機能の維持 対象施設：道路
計		7 8 9 , 3 3 0	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業（一般）	都道府県名	沖縄県	地区名	旧東第 1
-----	--------------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2 , 8 1 3 , 2 2 9 千円	
年 効 用		1 5 2 , 6 8 1 千円	
廃 用 損 失 額		4 , 5 2 2 千円	廃用する施設の現存価値
総 合 耐 用 年 数		5 5 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 4 7 0	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3 , 2 4 4 , 0 1 0 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 5	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	1 9 , 3 3 6	畑地かんがい施設の整備による 作付面積の拡大や単収の増加 対象作物：さとうきび、かぼち ゃ、パパイヤ
営農経費の節減	営農経費節減効果	9 4 , 7 3 3	畑地かんがい施設の整備による 労働時間の短縮や機械経費の節 減 対象作物：さとうきび
	維持管理費節減効果	4 , 7 7 0	畑地かんがい施設の整備による 維持管理費の増加 対象施設：揚水機、送水管、畑 かん施設等
地域の生活環境の保全・向上	水辺環境整備効果	4 1 , 4 0 9	降雨等により周辺海域へ流出す る土砂を防止することによる水 辺環境の保全 対象施設：沈砂池、集水池、浸 透池

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
地域の生活環境 の保全・向上	公共施設保全効果	1 , 9 7 3	管路埋設により、道路（旧施設）が持つ従来の機能の維持 対象施設：農道
計		1 5 2 , 6 8 1	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業（一般）	都道府県名	沖縄県	地区名	七又吉野
-----	--------------	-------	-----	-----	------

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2 , 0 0 5 , 0 3 4 千円	
年 効 用		1 2 3 , 1 1 3 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 3 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 6 2	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 , 1 9 0 , 6 2 2 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 9	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	1 2 3 , 7 8 9	畑地かんがい施設の整備による 作付面積の拡大や単収の増加 対象作物：さとうきび、にがうり、メロン、マンゴー、いんげん
営農経費の節減	営農経費節減効果	6 , 8 4 4	畑地かんがい施設の整備による 労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：さとうきび、葉たばこ
	維持管理費節減効果	7 , 5 2 0	畑地かんがい施設の整備による 維持管理費の増加 対象施設：送水管、畑かん施設等
計		1 2 3 , 1 1 3	